

## 平田氏のコメントに答えて

東工大・理 田口 善弘

(1994年4月1日受理)

平田様

拝啓

大変、好意的なコメントを書いて頂き、ありがとうございました。御指摘はいちいちごもっともです。実験のことが弱いというのは、反省すべき点であります。一言、言いわけを言わして頂ければ「工学屋さんの実験は、物理屋のセンスで整理されているわけではないので見てもなかなか興味が持てない」(これを読んでいる工学の方がおられましたら、決して工学を落しめているわけではないことを御理解下さい。私は、特に最近、工学屋さんは偉いと、尊敬しています。)ですから、平田さんの様な物理のセンスのある実験家にきれいな実験をやって欲しい(と、とりあえずはボールを投げ返しておこう)。

言い訳だけではなさけないので、少し建設的なことも書こう。物性研究のレビュー執筆時には間に合わなかったが最近、「英文」の(実験のことも書いてある)物理学者にも読めそうな解説やプロシーディングスが出版されたので紹介します。

- D. Bideau and A. Hansen, eds., Disorder and Granular Media, (north-Holland, Amsterdam, 1993)
- A. Mehta, ed., Granular Matter (Springer, Berlin 1993)
- C. Thornton, ed., Powders and Grains '93, (A.A.Balkema Publishers, Rotterdam, 1993)

特に2冊めは「物理学者向けのはじめての入門書」とめいうっているだけあってとっつきやすい(高価だけど)。「これは英語で読みたくない、やっぱり日本語で書いてくれ!」という手紙が編集部に殺到するようなら(そんなことは無いと思うが)これらの中身を日本語でまとめて、(もし法律に触れないなら)物性研究に投稿することにやぶさかではない(こんな大言壮語を吐いて大丈夫か?)。

最後に、地学と粉体の関わりについては地震研の小屋口氏が我々のグループが出したプロシーディングス(Y-h. Taguchi, H. Hayakawa, S. Sasa and H. Nishimori, eds., Dynamics of Powder Systems, Int. J. Mod. Phys. B, vol. 7, (1994) Nos. 9 and 10)に書いてくれた30頁に及ぶ論文、Multiphase Flows in Magmatism, Int. J. Mod. Phys. B, vol. 7, (1993) p1997. があります。これも英語ですが、読んで下さい。

また、我々のグループが日本物理学会誌の1月号に書いた記事(粉体の物理とパターン形成、早川尚男、西森拓、佐々真一、田口善弘)と、固体物理5月号に掲載予定の記事(粉粒体は「流れる」か?、田口善弘)も機会があれば目を通して下さい。

最後に平田さんの御健康と御研究のますますの発展をお祈りします。

敬具

田口善弘

1994年4月1日(!)